

感謝



APPRECIATION

UIA2011 東京チェアシティ展実行委員会
森林再生事業促進実行委員会



委員長 古谷誠章 (早稲田大学教授)
副委員長 鎌坂 徹 (株式会社設計)
運営部会担当責任者 鎌坂 徹 (株式会社設計)
財務担当責任者 萩田隆義 (株式会社デザイン)

委員 (順不同)
青木千栄子 (日本コカ・コーラ株式会社)
車戸城二 (株式会社工務店)
岩下博樹 (株式会社製作所)
酒井信二 (株式会社工務社)
東 亨 (株式会社工務社)
高井英樹 (東京都知事事務担当特別秘書)
大橋方利 (内閣府大臣官房政策評価広報課)
次原悦子 (株式会社サイドアップ)

ワーキンググループ (順不同)
萩田隆義 (株式会社デザイン)
鎌坂 徹 (株式会社設計)
鬼澤仁志 (株式会社設計)
藤 貴彰 (株式会社設計)
東 亨 (株式会社工務社)
力丸ゆかり
栗生はるか
松井美奈歩 (早稲田大学古谷研究室)
後藤かほ里 (早稲田大学古谷研究室)
田所 真 (早稲田大学古谷研究室)
中村 碧 (早稲田大学古谷研究室)
大石将平 (早稲田大学古谷研究室)
長 佑希 (早稲田大学古谷研究室)
高柴智史 (早稲田大学古谷研究室)
藪内文恵 (早稲田大学古谷研究室)

実行委員長 山本俊雄 (相模湖商工会 副会長)
事務局長 湖上美紀子 (株式会社コナノクラブ)
事務局 大神田英次 (相模湖商工会 主席経営指導員)
委員 井上重夫 (相模湖商工会 事務局長)
委員 石村黄仁 (NPO法人「緑のダム北相模」代表理事)
委員 丸茂 喬 (NPO法人「緑のダム北相模」理事)
委員 吉永晃也 (南吉永建具店)
委員 佐藤隆子

UIA 2011 東京チェアシティ展ワーキンググループ (順不同)
統括 小田原 健 (株式会社ベル研究所)
事務局 湖上美紀子 (株式会社コナノクラブ)
財務 大神田英次 (相模湖商工会 主席経営指導員)
広報 丸茂 喬 (株式会社マルモ出版)
会場演出 三好和彦 (株式会社ZNEM)
岡田恵子 (マミフラワーデザインスクール)

展示作品制作
吉永晃也 (南吉永建具店) / 辻本崇樹 (株式会社ヒノキ工務)
大学 悟 (南木田製作所)
協力スタッフ
越川久子 (職人の森)

協賛会社 (順不同)
相模湖商工会
NPO法人「緑のダム北相模」
株式会社マルダイ
株式会社伊佐ホームズ
株式会社ベル研究所
株式会社マルモ出版
NPO法人JCLF
株式会社コナノクラブ
株式会社日本生命
株式会社アリア
株式会社岡村製作所
株式会社マックス
神奈川県建具協
株式会社乃村工務社
協力会社 (順不同)
株式会社シネティックス
マミフラワーデザインスクール
南関東素材開発研究所
南大阪プリント工業
南藤商木材
藤工房
株式会社フォレスト西川
神保カンパニー

9月23日 PM2:00 ~ PM3:30

川崎景太 花のメッセージ



川崎景太
マミフラワーデザインスクール主宰
マミフラワーデザイン主宰
フラワーアーティスト

東京に生まれる。1982年アメリカ、カリフォルニア・カレッジ・オブ・アートアンド・クラフトを卒業。以後、数々のデモンストレーションや展示会、TV、雑誌でのプレゼンテーションを手掛ける。現代フラワーデザイン界リーダーのひとり。大胆な発想の空間インスタレーションや音楽プロデュースも定評があり、花に限らず幅広く活躍中。ディスプレイ、デザイン関連でも数々の賞を受賞。

http://www.keitakawasaki.net

◇著書/監修◇

「花のメッセージ」(グラフィック社)、「花のすみか」(誠文堂新光社)、「花くばり〜新しい花のとめ方」(文化出版局)、「花・異次元」(講談社)、「しあわせの花束」(文化出版局)、「百の花くばり」(アシェット婦人画報社)、「暮らしの花 マミの四季」春夏秋冬編・秋冬編 (アシェット婦人画報社) その他監修多数



10月2日 PM1:00 ~ PM3:00

武田双雲 「世界感謝の日」

WORLD-WIDE APPRECIATION DAY



世界感謝の日69

それは、クリスマスみたいに、ワクワクして
それは、正月のように、お祝いムードで
それは、エイプリルフールみたいに、その日だけは、批判の記事はなく、メディアのコンテンツは感謝の記事であふれて
それは、世界中の空気がコラボレーションして
それは、世界中のアーティストが感謝をテーマに制作して
それは、世界中の企業が、感謝キャンペーンをやって
それは、69が表すように、陰と陽が感謝の力で調和して、つながり、無限人となる
それは、世界中の人々が感謝の手紙を書いている日
それは、世界中に通常の何万倍もの感謝が循環する日

地球の6月9日か
そんな日になることを願っています

武田 双雲



武田双雲
書道家
昭和50年熊本生まれ。3歳から母である書家・武田双葉(そうよう)に書を叩き込まれる。東京理科大学理工学部卒、NTTに約3年務めた後、2001年1月より書道家として湘南で創作活動を始める。パフォーマンス書道や個展、ロゴを数多く手がける。著書多数。代表作に「人生」「戦」「波」などがある。

いたわりベンチがある街の風景を

日本の街には座るベンチや椅子がない。欧米の先進国には、街にベンチや椅子のある風景が当たり前に見られる。そしてどこも風景と調和した椅子が美しい。その様な街の風景は成熟した都市のシンボルである。椅子のある都市の風景をこの「東京チェアシティ展」で再考してみよう。



小田原 健の自宅ブランドと壁を利用したバス停杉材ベンチ。高齢化時代に喜ばれている

小田原 健 「風倒木を救え」から始まった森林再生ものがたり



小田原 健
家具デザイナー

1950年(15歳) 小田原少年東京芝の昭和の名人左甚五郎といわれた三輪磯松の元を訪ね弟子入り。「草鞋脱ぐ所見れば全てよし」という大先生との出会いから弟子入り人生がはじまる。

1958年(23歳) 東急五島昇の指示で藤田観光ホテル小浦建設プロジェクトを担当。吉村順三先生の元で設計協力する。その後多くの住宅物件の設計をする吉村哲学を実務で学ぶ。

1968年(33歳) 吉村順三教授より東京芸術大学建築科の講師の辞令を受ける。22

年間家具デザイン担当を務め330人の生徒を指導。

1975年(40歳) ヤマハ家具事業部のショップ指導、全国のショールームを設計。商品企画、人材研修などのコンサルティングシステムを確立。

1976年(41歳) 芸大奥村教授の木曾三岳村アトリエで起こしの木工所設立。木工基本技術の指導 針葉樹材の家具開発を約10年手掛ける。

1983年(48歳) 浜松ヤマハの関連で小池一三に奥村昭雄を紹介。OMソーラー設立し、太陽エネルギーを取り入れた住宅の普及を計る。

1993年(58歳) 大分県日田地域を襲った巨大台風による風倒木救済運動として有効利用をはかり、94年「風倒木展」を東京青山スパイラルホールにて6日間実施し、1万人の来場者を集める。その成果が上津江村トライウッドに発展していく。

1994年(59歳) OMソーラー小池氏により風倒木の杉フローリングの普及を依頼す

る。年間約5億円の買い上げで有効利用が計られた。

1994年東京芸大の黒川哲郎教授の協力の元、風倒木を利用した建築作品を30件建設する。

1994年風倒木の実績により、スウェーデン大使館の要請で自国の松の木材資源の有効利用の企画依頼を受け現地視察を行う。

1994年OMソーラー小池氏の依頼でスウェーデン松材のオリジナル家具の開発要請を受ける。デンマークオルボ市のバインコレクト社により小田原デザインが量産化される。

1995年(60歳) 上越県ウッドワーク地域産根曲杉の有効利用のためのプロジェクトを立ち上げ、組合18社の指導をする初仕事として市営温泉セン



風倒木展ポスター

ターの家具内装工事を受注。

1996年(61歳) ウッドワーク作品が農林大臣賞最優秀デザイン賞を受ける。話題の組合としてNHKクローズアップ現代で紹介される。

1998年(63歳) ガデリウス社の招待でスウェーデン式住宅研究会にアーキビジョン21担当者として、高気密、高断熱住宅の指導を受ける。

1999年(64歳) 北海道岩内にスウェーデン型建築高島旅館を新築する。アーキビジョン21によるエコ・省エネのモデル工事。

2000年(65歳) 福フォレスト西川 埼玉県産杉材有効利用プロジェクトを立ち上げる。キッチンシステム収納家具の開発・指導を大河原章吉他に行う。



福フォレスト西川

2001年(66歳) 神奈川県建具産地産杉材の有効利用プロジェクト立ち上げ、池谷理事、青年部メンバーのデザイン技術 販売指導を行う。

2002年(67歳) WWFジャパンFSC森林普及プロジェクトに協力。山笑会設立。小田原、速水他林業、製紙業参加する。

2003年(68歳) ニュージランド松材のFSC家具の開発プロジェクトを推進。ウッドワークの職人と小田原 健が現地向き指導。株式会社アスブルンド「粋」シリーズ商品化、エーブラハム社による橋学苑の机を開発。

2003年長野県カラマツ材有効利用のため田中知事、CWニコル、黒柳徹子、小田原健、コシノジュンコ、WWF会長等により森世紀プロジェクト



ウッドワーク作品

を設立する。
2004年(69歳) 新世紀工房設立。ガラス張りの知事室完成。47社のマイスター認定。代表親方に任命現在に至る。

2004年栃木県鹿沼杉の有効利用と木工産業活性化プロジェクトで経営NPO 萩田商工会議所、鹿沼木工職人を支援。

2004年浜松国際花博覧会でアーキビジョン21モデル住宅出展、速水のFSC 檜材のピアノをデザインする。制作は東洋ピアノ。

2005年(70歳) JICA タイプロジェクト参加パラウッド(ゴムの木)の有効利用プロジェクトで、スラタニ県で地域の木工業界、学校等を2年間現地指導。

2007年(72歳) 相模湖FS



NPO 職人の森設立書/武田双雲

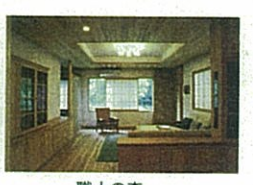
C認証林の間伐材利用による「森づくり・モノづくり」コンペの審査委員長及び森林再生事業促進実行委員会、地元木工製品開発のための指導を行う。

2008年(73歳) 杉材有効利用のためのシステム収納事業推進プロジェクトのため元麻布に職人の森ブランドのモデルルーム、デザインセンター設立。

2009年(74歳) 株式会社マルダイの長期優良住宅モデルハウス、システム収納設置。

2010年(75歳) 木更津にシステム収納モデルルーム完成。水源税による杉のSL車がジャパンカップ環境省より受賞。

2011年(76歳) 第4回コンペでUIA 2011 東京大会チェアシティ展に参加。出展企画実施プロデュースを手掛ける。



職人の森 デザインセンターモデル

